スポーツ愛ランド
2021
3
No.519 令和３年

広報あまぎ

樟南第二高等学校　卒業式
操　杏音さん（関連記事12P）

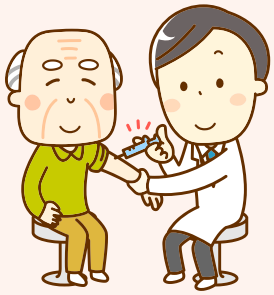
新型コロナウイルスの ワクチン接種がはじまります

新型コロナウイルス感染症のまん延を予防するため、予防接種法の規定に基づき厚生労働大臣の指示のもと、都道府県知事の協力をえて市町村が予防接種を行うこととされています。

天城町では、新型コロナウイルスワクチンが供給された場合に、速やかに接種が可能となるよう65歳以上の高齢者の方の接種体制の準備を進めています。

◆優先順位（国が示している）

1．医療従事者等（令和3年3月より開始）
2．令和3年度中に65歳以上になる高齢者（令和3年５月中旬以降に開始予定）
3．基礎疾患を有する者（※）
4．高齢者施設等の従事者
5．60歳～64歳の者
6．その他の者（16歳～59歳の者）



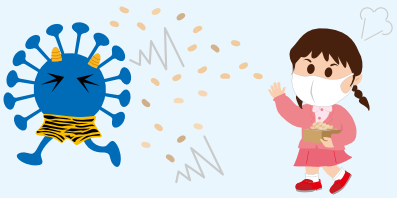
※基礎疾患を有する者とは、以下の病気や症状で通院・入院している方になります。

①慢性の呼吸器の病気　②慢性の心臓病（高血圧を含む）
③慢性の腎臓病　④慢性の肝臓病（脂肪肝・慢性肝炎は除く）
⑤インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を発症している糖尿病
⑥血液の病気（鉄欠乏性貧血は除く）
⑦免疫機能が低下する病気（治療や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む）
⑧ステロイドなど免疫の機能を低下させる治療を受けている
⑨免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
⑩神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
⑪染色体異常
⑫重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害と重複した状態）
⑬睡眠時無呼吸症候群

◇基準（BMI３０以上）を満たす肥満の方（※BMI＝体重（Kg）÷身長（m）÷身長（m））

★持病のある方でコロナワクチン予防接種を希望される方は、主治医へ必ず相談してください。

◆天城町の予防接種のすすめ方



◇集団接種を実施します。

①保健センターにて受付・予診票確認を行います。

②あまぎユイの里医療センターにて、問診・ワクチン接種・接種後の健康観察を行います。

※　接種場所については、原則住民票のある市町村で接種することになっています。やむをえない事情の場合は、住民票所在地以外でも受けることができます。

◇ワクチンの種類

ファイザー社のmRNAワクチンを使用します。2回接種となり、接種間隔は、1回目接種後21日を置いて2回目の接種になります。

この予防接種は、筋肉注射です。

◇接種費用は、無料です。

◇接種は、本人の同意に基づいて行う任意接種です。強制ではありません。

◇予防接種の流れ

1．65歳以上の高齢者の方より3月下旬以降に接種券・接種案内接種希望意向調査の書類を郵送にてお届けします。

2．接種券が手元に届いたら、接種券に記載されている氏名がご自身のものか確認をしてください。

3．接種意向調査を保健センターへ提出ください。

4．接種意向調査に基づき、希望者へ予診票と接種日程表・当日持参書類案内を郵送します。

5．指定された接種日に、当日の持参書類を確認の上、接種受付会場保健センターまでお越しください。

＜新型コロナワクチン接種に関する相談窓口・問い合わせ先＞
天城町保健センター　　電話　0997-85-4100

令和3年度施政方針

令和3年第1回天城町議会定例会が3月2日に開会し、森田弘光町長が令和3年度の町政運営について施政方針演説を行いました。その全文を掲載します。

はじめに

本日、令和3年第1回天城町議会定例会が開催されるにあたり、町政運営の基本方針と施策の概要をはじめ、町政運営の基本となる令和3年度予算を申し上げ、議員各位並びに町民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、昨年は、東京オリンピックや国体など国内外の様々なイベントが新型コロナウイルス感染症により延期または中止となり、天城町においてもトライアスロンIN徳之島大会や町民体育祭をはじめ、多くのイベントが中止となりました。今もなお、猛威をふるう新型コロナウイルスに油断できない状況が続いております。

しかしながら、コロナウイルスに翻弄されているばかりではいけません。本町においてもまもなくワクチンの接種が段階的に開始されます。町民の皆さますべてが早く確実に受けられるよう万全な準備を進めてまいります。

先日、ノーベル生理学・医学賞受賞の山中伸弥教授が、NHKの番組で「人類と新型コロナウイルスの戦いは、スポーツのラグビーに例えるなら、前半戦はコロナウイルスにやられっぱなしだった。今、ハーフタイムを迎え、いよいよ後半戦は人類が反撃する時だ」と語っていました。新型コロナウイルスを克服して、サスティナブル（sustainable 持続可能）な社会を再構築していくためにどうあるべきか、今こそ考えなければなりません。

令和3年は、天城町町制施行60周年の記念すべき年です。1月1日に天城町は60歳を迎えました。人間で言えば、還暦です。運営委員会を設置し、記念イベントや記念式典を計画するほか、広報あまぎの縮刷版を作成してまいります。町勢を今日まで支えてこられた諸先輩方やご支援ご協力いただいている関係者の方々、そして町民の皆さまと共に60周年を祝いたいと考えております。

さらに、天城町の進むべき羅針盤となる第6次天城町総合振興計画（AMAGI-VISION）も策定されます。そのAMAGI-VISIONでは「Reb0rn（再生）-新たな出発-」という基本概念のもとに、事業・施策を進めてまいります。

奄美群島振興開発事業につきましては、本格的に事業着手する「あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業」のほかに大和城観光地連携整備事業やこれまで取り組んできた事業をさらに推進してまいります。

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークやオンライン会議などを中心に、新しい生活様式が重要視され、地方へのしごと・ひとの流れが加速化する傾向にあります。令和2年度に策定した「第2次天城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、この機会を的確に捉え、感染症による行動変容を踏まえつつ、新たな関係人口や〝天城町ファン〟の獲得に向け、「企業版ふるさと納税」や移住定住に関する施策など、天城町独自の地方創生に取り組んでまいります。

また、サテライトオフィスやワーケーションなど、企業の地方進出も進んでいることから、令和3年度より入会する鹿児島県企業誘致推進協議会において県外企業の情報を的確に収集し、積極的な企業誘致に取り組んでまいります。

天城町の新たな出発、「住んでよかった。暮らし満足度NO.1のまち」を目指して誠心誠意努力していく所存でございます。また、私のモットーであります、「先ず隗より始めよ（率先垂範）」「スピード感を持って対応」「必ず記録・メモをとろう」を職員と共有しながら町民サービスのさらなる向上に引き続き努めてまいります。町民の皆さまのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

天城町の心は〝てぃーち〟。一つにして共にがんばりましょう。

以下、重要施策につきましてご説明申し上げます。

❶ 安定した雇用を創出する

（1）農業・水産業の持続的発展による経済の活性化及び所得の向上

本町の農業は、さとうきび、畜産、バレイショの3品目が基幹作物として農業生産額の9割以上を占めていますが、その他にも温暖な気候を生かし、マンゴー、パッションフルーツ、たんかん、茶、実えんどうなど多種多様な作物が生産されており、わが町の農業は大きな可能性を秘めています。

令和3年度も地域農業を支える担い手の育成や、畑かん推進、亜熱帯性の気候を生かした生産性の高い産地づくり、地産地消やスマート農業の推進に取り組みます。

また、第3次天城町農業ビジョン、第3次天城町食育推進計画を策定するとともに、農業振興地域整備計画の見直しを行ってまいります。

昨年新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった農業祭ですが、令和3年度は「町制施行60周年記念第50回天城町農業祭」として皆で農業の振興発展を祝います。

さとうきびにつきましては、今期産は台風等の気象災害もなく全般的に順調な生育で、品質・生産量共に高水準が期待されており、本町においては6万4千900トン、徳之島3町では約17万9千トンを見込んでおります。

令和3年度においても収穫面積の確保や増産へ繋がるよう、省力化機械の導入、高齢化や担い手不足の解消、徳之島さとうきび農作業受委託調整センターの活用、イノシシ被害対策など、さとうきびの安定生産に向け、支援してまいります。

肉用牛につきましては、コロナ禍で懸念された価格も回復の兆しが見えてきております。これまで取り組んできた自家保留・導入奨励事業の効果もあり計画的な更新、規模拡大が図られ、生産牛は順調に増頭がなされてきております。

令和3年度も引き続き、畜産クラスター事業及び町単独事業による基盤整備と管理機械導入等で省力化と規模拡大を推進し、生産性と収益性の向上に取り組んでまいります。

現在へい獣処理施設の建設が進められております。今後はこの施設を活用し、死亡獣畜の適正な処理を進めてまいります。併せて堆肥の有効利用や適正な処理へ向けた普及啓発を行ってまいります。

バレイショにつきましては、「かごしまブランド産地」として銘柄も確立されているところですが、今期産は記録的な日照不足と季節風の影響による収量の減少が懸念されており、今後の面積維持が課題となります。

そのため、輸送コスト支援事業の活用、植付機、堀取機などの導入助成に加え、作業の省力化を図るためドローンによる薬剤散布助成を行います。

その他、園芸作物全般の技術向上への取り組みとして、関係機関や農業センター等による営農指導を行ってまいります。

担い手の確保につきましては、農業センター研修生制度や指導農業士による指導等を通じて地域を担う人材の確保・育成に取り組んでまいります。また、人・農地プランの実質化の取り組みと農地中間管理事業の推進により、担い手への農地の集積・集約化に取り組むとともに地域の農業を支える人材の確保に努めてまいります。さらに、経営体育成や農業法人化への誘導、青色申告会及び収入保険制度の加入促進により経営の安定化に繋げてまいります。

食育・地産地消につきましては、先ほども申し上げましたとおり、第3次食育推進計画を策定し、天城町の多彩な食文化と豊富な農畜産物の魅力を生かした取り組みを推進してまいります。引き続き、学校における教育ファームや親子料理教室を通じて食と農への理解を深め、新鮮な地元産食材及び郷土料理を取り入れた学校給食の充実を図るほか、農産物加工による新商品開発の支援を行います。

さらに、農業センターでの農業塾や技術セミナーを活かした野菜や花づくりの実践と、苗もの市の開催で活発な家庭菜園の普及を図り、自給野菜の確保を推進してまいります。

鳥獣被害対策につきましては、イノシシの食害による農作物被害は歯止めのかからない状況にあり、ICT機器導入による捕獲の効率化、猟友会組織の育成、天城町鳥獣被害対策実施隊による防護柵の点検など捕獲と被害対策の強化に努めます。

また、山猪工房あまぎの島内外におけるさらなる流通販売の確立とジビエ料理の普及に取り組んでまいります。

林業につきましては、森林環境譲与税を活用し島内産材の普及と利用促進に努めてまいります。引き続き枯損木の伐倒や樹幹注入を

実施し、森林保全に努めてまいります。特用林産物の生産につきましても、シイタケやキクラゲの産地化に向け、普及に取り組んでまいります。

水産業につきましては、漁業者の所得向上、低利用・未利用魚などを有効に活用するため、６次産業化施設（やっちゃえ！いとぅまん！）を整備し、新たな雇用の確保や地場産魚の普及に努めます。離島漁業再生支援交付金事業につきましても継続してまいります。

町単独事業の水産業活性化推進事業につきましては、まずは漁具の更新、さらに新規就業者の育成に努めてまいります。併せて、鹿児島大学の協力を得て、先端水産業実証事業施設を活用した様々な取り組みを行っていきます。

また、松原漁港水産物供給基盤機能保全計画に基づき、令和３年度は船揚場の段差解消と突堤の機能保全を行います。

農地基盤整備につきましては、令和２年度末のほ場整備率は８４・５パーセントとなっております。

令和３年度は、８地区の県営畑地帯総合整備事業により畑かん36ヘクタール、区画整理10ヘクタール、農道改良３６０メートルの事業を実施してまいります。

なお、徳之島ダム受益地の散水可能面積は、令和２年度末で３４４ヘクタール、進捗率は２５・６パーセントとなる見込みです。

令和３年度も引き続き、天城町畑かん営農ビジョンを基に受益農家、関係機関並びに畑かん推進員とともに水利用面積の拡大に取り組んでまいります。

また、県営畑地帯総合整備事業の清算事務未完了地区につきましては、現在33地区のうち６地区が完了しました。引き続き未完了地区の清算事務に取り組んでまいります。

農道及び水路整備につきましては、農業基盤整備促進事業（中部地区）において、兼久の農道及び排水路の一部改良を行っており、引き続き兼久及び浅間の農道９２０メートル、排水路１４０メートルの整備を進めてまいります。

また、農業基盤整備促進事業・北部地区では農道４９０メートル、排水路２４０メートル、南部地区では農道７４０メートル、排水路２４０メートル、農業・農村活性化推進施設等整備事業（真瀬名地区）においては排水路60メートルの整備を行ってまいります。

併せて、令和５年度からの事業導入を目指している兼久及び瀬滝の未舗装農道の改良に向けて、通作条件整備樹園地等型の事業計画を作成いたします。

南部ダム畑かん施設（第二天城南部）では、経年劣化により施設の機能低下が生じていることから、ストックマネジメント事業を導入することにより順次パイプラインの付帯施設（弁類）の更新を行ってまいります。

多面的機能支払交付金事業につきましては、令和３年度も引き続き広域組織と他１組織で、農地、農道、水路、沈砂池等の維持管理活動を実施してまいります。

地籍調査事業につきましては、３１・２パーセントの進捗率となっております。令和３年度は、西阿木名・与名間の新規・継続合わせて74ヘクタールを進めてまいります。

（２）新たな事業創出と観光産業の振興

平土野地域の活性化につきましては、引き続き平土野地区起業家支援事業や平土野地区活性化基金活用事業を活用し新たなチャレンジを支援します。また、新たに立ち上がった天城町農泊推進協議会と連携し、にぎわいづくりの促進に努めてまいります。

平土野港多機能港湾新設に向けた取り組みとしては、昨年７月に期成同盟会を設置し11月には県に要請活動を行ったところであります。これからも町議会議員の皆さまと連携し、県・国への要望活動を強力に展開してまいります。また、平土野港における現状や課題、ニーズを多面的に整理しつつ、町民に対するＰＲも行い、町民運動として積極的に取り組んでまいります。

商工業につきましては、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で大きなダメージを受けたところであります。地方創生臨時交付金を活用し、商工業者の皆さまへ支援をしてまいりましたが、令和３年度も国の地方創生臨時交付金を活用し、商工業者を支援してまいります。

また、町単独事業として商店街の活性化を促すために、わっきゃが広場や空き店舗を活用した様々な取り組みを支援してまいります。地元消費拡大対策として引き続きプレミアム商品券補助事業費３００万円を継続し、町内における消費購買の拡大を図ります。

昨年度から引き続き、キャッシュ

レスの推進及び９月まで延長となったマイナポイント事業にも取り組んでまいります。

観光業につきましては、世界自然遺産登録を見据え、人と自然が共生する癒しの観光地づくりを継続して進め、令和３年度は観光地連携整備事業において引き続き、大和城に宿泊滞在型施設の整備を行います。

長年の懸案でありました全天候型多目的施設について、あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業として実施設計を行います。徳之島の豊かな自然や島唄、踊り、闘牛などの伝統文化の魅力や観光情報を効果的に発信してまいります。また、徳之島ならではの特産品や農産物を販売する直売所も併設し、地域の活性化に資することとしております。

また、トライアスロンＩＮ徳之島大会につきましては、昨年、初の中止という残念な結果となりましたが、第34回大会開催に向けて万全な準備をしてまいります。

スポーツ合宿につきましては、多様な事業者への経済波及効果があり、とても重要な分野であります。引き続き、既存施設の整備を進め、充実を図るとともに、新規開拓を行うなど、年間を通して誘致活動を行い、天城町のスポーツ合宿誘致の活性化を図ってまいります。

また、徳之島のスポーツ合宿についてご指導ご助言を賜り今日の礎を築いた、日本陸上界の名監督である故小出義雄監督を偲び、天城クロスカントリーパークを「小出義雄メモリアル天城クロスカントリーパーク」と名称を変更するとともに、同敷地内に監督の功績を称える記念碑を建立いたしました。今後の観光振興及びスポーツ振興に大きく寄与するものと考えております。

令和元年から徳之島と大阪（伊丹）を往復する臨時便が年末年始及び夏休み期間に就航しております。アフターコロナ、ウィズコロナを見据えながら、引き続き国・県・航空会社等への定期的な直行便就航の要請活動を行ってまいります。

燃ゆる感動かごしま国体トライアスロン競技につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和５年への開催延期が決定しております。令和元年にリハーサル大会を開催し、本大会に向けて万全な体制づくりや準備を進めておりましたが、再スタートをきるという新たな気持ちを持ちつつ、令和５年開催に向けて、関係機関と連携を図りながら準備を進めてまいります。

② 新しい人の流れをつくる

（１）ふるさと創生

移住・定住の促進につきましては、「おいでよ！魅惑のアマパゴス」をキャッチフレーズに、ワンストップ移住相談窓口の体制強化と移住情報ウェブサイト及びパンフレットのブラッシュアップ（磨き上げ）を行い、多様な移住ニーズの把握と移住希望者に寄り添った支援を行ってまいります。また、移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）によるＳＮＳ等での積極的な移住情報発信を行うとともに、ＳＮＳインフルエンサー（世間に対して大きな影響を与える人物）等を活用した取り組みや関東・関西の大都市圏での移住フェア等においてＰＲ活動を実施し、移住人口の増加を図ります。

さらに、令和２年度からの繰り越し事業ではありますが、奄振事業を活用して制作する、観光ＰＲショートムービーを最大限活用してまいります。

空き家対策につきましては、空き家バンク制度、空き家改修事業の周知を行い、引き続き空き家の活用を支援いたします。令和２年度は６件の空き家改修費補助を実施いたしました。今後も町ホームページなどで広く空き家情報を提供し定住者の増加に繋げてまいります。また、天城町空家等対策計画に基づき空き家・廃屋などの適正管理を啓発してまいります。

ふるさと納税につきましては、新たな寄附者の獲得やリピーター確保のため、ＰＲ活動を積極的に行ってまいります。特に寄附金を活用した充当事業について、寄附者をはじめ、町民の皆さまへ広く周知してまいります。

（２）世界自然遺産登録に向けて

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録につきましては、令和３年夏頃に中国にて開催される世界遺産委員会において登録の可否が決定されます。登録に向け世界自然遺産奄美トレイルのＰＲや自然観察会等を開催し、自然遺産への意識醸成を図ります。登録が実現された際には、世界自然遺産記念イベントを国、県や関係機関とともに開催いたします。

世界自然遺産登録を、ゴールでなくスタートとして捉え、希少野生動植物の保護や外来種対策などの遺産価値の保全に努めます。ま

た、小・中学生を対象とした世界自然遺産学習「あまぎ学」を通して世界に誇れる文化・自然の継承に積極的に取り組むとともに、登録を契機とした天城町の魅力発信や地域振興、異文化交流等にも努めてまいります。

また、世界自然遺産の価値に相応しい森である、天城岳の松原登山道及び周辺整備を環境省とともに実施いたします。

❸ 健康・妊娠・子育て・教育の希望をかなえる

（1）子どもから高齢者までみんなが健康の町

保健予防事業につきましては、引き続き乳幼児健診、特定健診、長寿健診、がん検診などの各種検診の受診率向上に努め、早期の育児支援や保健指導、疾病の早期発見・早期治療につなげ、健康の保持増進と医療費の適正化にさらに取り組んでまいります。

また、3月以降予定されている、新型コロナウィルス感染症ワクチン接種については、より多くの町民の皆さまに迅速に接種できるよう、令和2年度9号補正予算と令和3年度当初予算に予算計上するとともに、医療機関との協議を進めているところでございます。

新型コロナウィルス感染症対策としては、マスク着用や手洗い、密集・密接・密閉の三密を避けるなどの新しい生活様式の定着を進めると共に、新型コロナウィルス感染症対策基金を活用し、介護施設の感染症対策補助、島外療養者の帰島旅費補助等を行います。

子育て支援につきましては、保健センターに新設した「子育て世代包括支援センター（こそだてらす）」を拠点とし、妊婦等保健指導・妊婦乳幼児健診・産後ケア事業・親子教室等の実施により出産前から育児まで、切れ目のない子育て支援を展開してまいります。

国民健康保険事業につきましては、誰もが安心して医療が受けられるよう、その安定的な運営を進めてまいります。また、年々高騰し続けている医療費の抑制を図るため、保健センターの健康運動教室において個々に応じた運動の提案をする他、レセプト点検等の医療費適正化対策を推進してまいります。

介護保険事業につきましては、これまでの事業が功を奏し、介護給付費の抑制が図られたため、保険料を引き下げます。今後も自立支援・介護予防・重度化防止に取り組むとともに、介護給付適正化事業に取り組み、介護保険制度の安定と持続可能な運営を推進してまいります。

地域支援事業につきましては、高齢者が安心して自分の家で暮らし続けることの出来る社会の構築を目指してまいります。そのために、高齢者の状況を把握し、医療・介護・予防・住まい・地域の見守りや生活支援等の充実を図ることにより、高齢者一人ひとりの生活を支える仕組みをつくり、地域包括ケアシステムを構築してまいります。

児童福祉につきましては、少子化対策並びに子育て支援の取り組みとして、児童養育助成事業による保育料の無償化や、新たに「へき地保育所児童養育支援事業」を実施し、給食提供のないへき地保育所を利用している保護者の負担軽減を図ってまいります。また、出産祝金支給事業の上限を撤廃して継続するとともに、医療費助成を高校生までに拡充した児童医療費助成事業や保育所を利用せず在宅で子育てをしている世帯への在宅育児支援事業をさらに拡充いたします。

また、令和3年度から小学校入学生の保護者に対し「新入学生未来づくり応援金」を支給し、子育て世帯への経済的支援や負担軽減を図り、より一層の子育て環境の充実に努めてまいります。

保育所につきましては、幼児英語教室を継続するとともに、設備や遊具等の整備を進めてまいります。

障がい者福祉につきましては、地域生活支援事業を活用した日常生活用具の給付や車椅子・補聴器など補装具の支給等を行い、障がいを抱えた方やその家族が安心して暮らせるように支援してまいります。

また、農業センターなど、行政機関において就労機会の提供を行う「農福連携」を進めてまいります。

高齢者福祉につきましては、敬老祝金支給や敬老バス無料乗車証交付など、高齢者に寄り添った事業を展開するほか、老人クラブへの助成も引き続き実施し、地域づくりの大切な一員として活動していただけるよう支援してまいります。

自殺予防につきましては、こころの電話相談や臨床心理士による個別相談会など相談支援に取り組むとともに、こころの健康に関する講演会を実施し、自殺対策に努

めてまいります。

また、島内治療困難者に対して旅費の一部を助成する島外治療旅費助成事業や臓器移植手術等旅費助成事業を継続して行い、経済的負担の軽減に努めてまいります。

（2）将来の天城町を託せる人材の教育

教育文化の町づくりにつきましては、「ユイの心をもち、世界雄飛と島担うひとづくり」を基本目標として、将来の天城町を託せる人材の教育を推進してまいります。

学校教育につきましては、新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な対策として、引き続き令和2年度からの繰越事業となりますが、学校保健特別対策事業費補助金を活用し、学校における感染症対策や教職員の資質向上のための支援を行います。

学校の新学習指導要領において、言語能力、問題解決能力に加え、情報活用能力が重要視されてきており、中学校においては令和3年度からプログラミング教育が必修化されます。タブレットなどのＩＣＴ機器を活用した学習を推進し、「ＧＩＧＡスクール構想」の実現を図ってまいります。

教職員の働き方改革の推進につきましては、学習評価等に校務支援システムを活用し事務作業の負担軽減を推進してまいります。

学力向上に向けた教員の資質向上や、充実した教育活動の推進といたしましては、土曜授業の実施や授業づくりの指針となる「天城町授業づくりの目」を活用してまいります。

特別支援教育につきましては、引き続き学校間の交流を深めてまいります。生徒指導につきましては、心の教育相談員やスクールソーシャルワーカーを配置します。さらには臨床心理士によるスクールカウンセリングを定期的に行い、一人ひとりに寄り添った支援を継続してまいります。

また、「われんきゃグローバルプロジェクト」として、町単独事業で英検・漢検等各種検定の補助を継続して実施いたします。さらに、中学生を対象としたホームステイを通じ、語学研修を行う海外派遣事業を計画してまいります。

英語教育につきましては、ＡＬＴを増員し、児童・生徒の英語力の向上に努めてまいります。

郷土教育につきましては、自然や文化・伝統に関心を持ち、シマグチや島唄などを大切にし、ふるさと天城に誇りをもつ児童生徒の育成と自然環境等の世界的な〝価値〟について学ぶ「あまぎ学」を令和3年度も行います。

学校給食につきましては、地場産品を積極的に活用し、子どもの地域に息づく自然や文化、農業に関する理解を深めるとともに、生産者の努力や食に関する感謝の気持ちを育んでまいります。そのため昨年度に引き続き地元生産牛などを食材として活用し、地域農業・畜産業についての食育学習を推進してまいります。

健康で心豊かな子どもの育成の推進につきましては、体験活動や芸術とのふれあい教室を実施いたします。また、山海留学制度の拡充や特認校制度を活かした地域支援活動を推進してまいります。

高等学校、短期大学、専門学校、大学等への入学希望者を対象に、天城町育英奨学資金を継続して貸与してまいります。夢と希望の上原勇一郎奨学資金につきましても継続して貸与できるよう努力してまいります。

学校施設につきましては、天城町学校施設長寿命化計画が策定されました。第6次天城町総合振興計画（ＡＭＡＧＩ-ＶＩＳＩＯＮ）に基づき校舎・体育館・教員住宅の計画的な補修・建て替えを進めてまいります。あわせて、給食センターにつきましても建設に向けて準備を進めてまいります。

社会教育につきましては、昨年度中止となった第18回大島地区生涯学習推進大会及び第21回大島地区広域文化祭が本町で開催されます。「奄美のよさを生かした、人づくり・つながりづくり・地域づくり」を目指してまいります。

また、文化芸術の取り組みとしましては、みやまコンセールによる「みやまふれあいコンサート」を7月に開催いたします。

放送大学授業単位取得助成事業につきましては、人材育成の観点から生涯学習、資格取得、キャリアアップなど目的に応じた単位取得のための支援として、取得に係る経費を助成し受講者の学習意欲の向上及び経済的負担の軽減を図ってまいります。

ユイの里天城花いっぱいフラワーロード運動助成事業につきましては、昨年度多くの町民の皆さまにご参加をいただきました。「わたしに出来ること！あなたに出来ること！！みんなで出来ること！！！」をキャッチフレーズに

令和３年度も花いっぱい運動をとおして地域コミュニティーの育成を図ってまいります。

生涯学習講座につきましては、町民の価値観や学習ニーズに的確に対応し、生涯学習の内容の充実と向上に努めてまいります。

教科セミナーにつきましては、個々の様々な能力開発・学力向上を支援し、次代を担う青少年の健全育成を図ってまいります。自主的学び応援事業につきましても、引き続き実施してまいります。

図書館につきましては、新型コロナウイルス対策として、非対面型机やパーテーション等を新規に導入いたしました。今後も町民が気軽に立ち寄れる図書館を目指してまいります。また、移動図書館につきましては、町民が利用しやすいように随時利用場所・時間帯を工夫しサービスを提供してまいります。

社会体育につきましては、延期となっていた第74回県体第62回大島地区大会グラウンドゴルフ競技・剣道競技、第48回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会全空連空手道競技が本町で開催されます。

また、令和３年度は「２０２１年度巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が本町で８月３日に開催されます。町民が健康で笑顔あふれるまちづくりに努めてまいります。

B＆G海洋センターにつきましては、宿泊学習プログラムの充実や多目的艇庫に新たに導入したクリアボトムカヌー・クリアスタンドアップパドルボードを活用し、水上アクティビティの充実を図ってまいります。

ユイの館につきましては、引き続き文化的資料の収集と整備に努めてまいります。

新しく１階には闘牛ＤＶＤ放映・ウンブキＤＶＤ放映コーナーを設置いたしました。２階には徳之島や世界各地の岩石を収集して徳之島の成り立ちを説明する展示コーナーを新設しました。各種講座や講演なども開催し、町民の学習機会の充実に努めてまいります。

文化財事業につきましては、国宝重要文化財等保存整備事業を活用して下原洞穴遺跡調査指導委員会と連携し、下原洞穴遺跡の国指定を目指す発掘調査を推進してまいります。

また、引き続き町内沿岸における水中遺跡の分布調査を行っていくとともに、ウンブキ水中鍾乳洞につきましては水中探検家、広部俊明氏の協力を得ながらその実態解明に向けた取り組みを推進してまいります。

令和３年度から新たに、樟南第二高等学校と連携協定を結び、「次世代育成連携事業」を展開いたします。初年度はゴミ回収ボックスを14基製作し、各集落に設置いたします。

４ 時代に合った地域をつくり、安心した暮らしを守る

（１）町民が安心して暮らせる環境の確保

道路整備につきましては、前野岡前横断線及び平和東線の２路線の道路改良を進めてまいります。令和３年度は用地購入及び本工事に着手してまいります。

舗装修繕事業につきましては、瀬滝三京線・鬼塚街道線・松原天城線を中心に進めます。また、町単独事業として、空港バイパス線の新設工事を行ってまいります。県道管理の受託事業として維持補修事業、路傍樹育成保全事業も継続して実施してまいります。

橋梁補修事業につきましては、橋梁長寿命化計画に基づき33橋の点検を行います。併せて石川橋の補修と才知又橋の架け替えを実施いたします。

公営住宅建設事業につきましては、大和川団地に１棟４戸を建設し、また、当部集落に町単独事業として木造住宅１棟２戸を建築してまいります。更に前里新団地に親子で利用できる遊具等を整備します。

公園整備事業につきましては、総合運動公園の老朽化した休憩所の改修を行い、併せて岡前西郷公園の遊具の更新を行ってまいります。

防災につきましては、昨年９月に発生した台風10号の「特別警報級」という過去にない警戒態勢の中、防災センターをはじめとする各指定避難所に３１５名の方々が避難しました。町民の迅速な行動と消防団ほか関係機関との連携によって、大きな被害もありませんでしたが、コロナ禍での感染症防止対策など新たな教訓となりました。

いつ、発生するかわからない大規模自然災害に備えるため、強靱化対策は喫緊の課題です。令和２年度に策定した「天城町国土強靱化地域計画」に基づき、防災・

減災対策及び地域生活基盤など地域防災力の強化を図ってまいります。令和2年度は、集落避難所へ非常時の停電に備えて、発電機の配備を行いました。さらに令和3年度は水槽付消防ポンプ自動車を導入し、安心で安全なまちを目指してまいります。そして、自主防災組織及び町民を対象とした防災研修や防災訓練を実施し、防災意識の向上を図り災害に強いまちづくりを推進いたします。

課題となっている地域防災に欠かせない消防団員の確保と養成につきましては、ＡＹＴや町ホームページ等を活用し、人材確保に努めてまいります。

交通安全・防犯対策等につきましては、徳之島警察署と連携を図り、集落区長や住民の意見を踏まえた道路危険箇所の改善に努めてまいります。かねてより、集落からの要望が多い防犯灯につきましては、助成額を増やし、ＬＥＤ化を進めてまいります。

また、コロナ禍での集落行事の中止による寄付金の減少など、集落運営が逼迫している状況を緩和するため、地方創生臨時交付金を活用して3月中に「集落支援事業」を実施いたします。

その他、町内交通支部及び交通安全母の会とともに交通ルールや交通マナーの意識向上並びに飲酒運転の根絶、防犯に対する啓発活動等を展開し、安心で安全なまちづくりを目指します。

水道事業につきましては、天城町水道ビジョンに基づき、これからも安心で安定した水の供給に取り組んでまいります。

主に、水道施設の維持管理、適切な資産管理が行えるよう水道施設台帳を作成し管路網や浄水施設の整備に努めてまいります。また、台風、豪雨、地震等の災害に備え、導水管の強化及び老朽化した配水管の更新を計画的に進めてまいります。そのため、令和3年度は水道管路耐震化等推進事業及び生活基盤施設耐震化交付金事業の採択に向けて準備を進めてまいります。

生活環境・公衆衛生につきましては、生活排水対策として合併処理浄化槽設置整備事業を推進しております。本町においては、合併処理浄化槽設置率が50％となっておりますが県内では下位となっており、より一層の啓発と整備に力を入れてまいります。

また、令和2年度に引き続き、地方改善施設整備事業において、兼久集落と松原上区集落内の排水路整備を実施いたします。

生活環境につきましては、ハエ・カ駆除を目的とした殺虫剤購入への助成を行います。さらに、新型コロナウイルス対策の一環として、町内の全世帯を対象に「ステイホーム応援ごみ袋配布事業」を実施いたします。

廃棄物対策につきましては、生ごみ処理機購入費助成事業により、ごみの減量化・資源化を推進してまいります。また、不法投棄防止パトロールや海岸漂着物の回収を行い、景観及び自然環境の保全に努めてまいります。

徳之島愛ランドクリーンセンターにつきましては、旧天城町クリーンセンター跡地に新施設を建設すべく準備を進めてまいります。

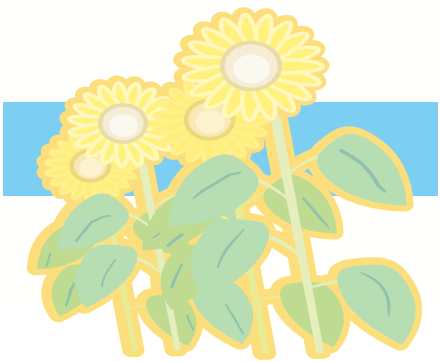
（2）行財政改革の推進

第2次天城町行政改革大綱及び第2次天城町集中改革プランに基づき、歳入確保や事務事業の見直しなどの歳出抑制の検証を行い、第1次組織・機構の再編を行いました。さらに行政運営基盤の強化と健全化を促進するため、事業課を中心に組織・機構の第2次再編を行います。

また、第3次天城町行政改革大綱及び天城町人材育成基本方針を基に行政基盤強化を行います。職員一人ひとりの多様な潜在能力を最大限に引き出し、職員の資質向上を図り、限られた人材と財源を有効に活用して本町の発展に繋げてまいります。

税務行政につきましては、多くの町民の皆さまには納税に対するご理解・ご協力をいただき、収納率も向上してまいりました。今後も口座振替の推進とともに、毎月1回休日納付窓口の開設のほか、24時間対応のコンビニ収納やスマホ決済システムpayB（ペイビー）やPayPay(ペイペイ)等を導入し、納税者の利便性確保を図ってまいります。

一方、納税に対する理解が得られない一部の滞納者に対しては、法に基づき預貯金や生命保険等の財産調査及び勤務先への給与調査を行い、財産差押えなどの滞納処分を強力に実施し、併せて差押え物品の公売会を開催してまいります。



祝 ご卒業

樟南二高

春になり天城町にも卒業の季節がやってきました。3月1日（月）、樟南第二高等学校で第53回卒業式が行われ、新型コロナの影響が続く中で最後の1年を過ごした生徒たちがそれぞれの思い出を振り返りながら級友との別れを惜しみました。95名の卒業生を代表して操杏音さんは「私たちはこれからこの島を離れ巣立っていきますが、私たちを育んでくれた故郷のことを忘れずに一歩一歩自分の足で夢に向かって歩いていきます。」と決意を述べました。

普通科

商業科1組

商業科2組

工業科

北中・天中・西阿木名小・中

3月16日（火）には北中学校17名、天城中学校16名、西阿木名小学校3名、西阿木名中学校1名の卒業生が旅立ちの日を迎えました。北中学校卒業生代表の麓蒼空さんは、「部活動では新型コロナウイルスの影響で総体が中止となりとても悔しい思いをしたが、努力した日々が無駄だったとは思わない。」と上を向いて話しました。

北中学校

天城中学校

西阿木名小・中学校

春から新しい生活が始まる卒業生の皆さん、それぞれの世界でのご活躍を願っています。ご卒業おめでとうございます！

－　ユイの心を育む 生涯学習閉講式　－

2月14日（日）、天城町防災センターにて町制施行60周年記念 令和2年度天城町生涯学習閉講式が行われました。今年の閉講式は来場者を制限したほか、座席の間隔を空け、換気・検温・消毒を徹底するなど感染予防対策を講じたうえで12講座、約150名がこれまで学んだ成果を披露しました。また、1階ロビーでは絵画や生花、書道など9講座の作品が展示されました。

結シアター手舞

子宝六調バンド

松西レクリエーション

受入英会話

島唄　白鷺会

フラダンス

コール天城

DANCE JETs

仙田流　亜紀駒教室

ラテンエクササイズ

紫乃井流　紫苑会

レクリエーションダンス

「パラアスリート上原大祐さんによる“心のバリアフリー”に関するワークショップ」

２月２日（火）、天城町立兼久小学校（３・４年生対象）にて、「パラアスリート上原大祐さんによる“心のバリアフリー”に関するワークショップ」が開催されました。コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、オンラインでの開催となった本イベントは、障がい者や障がい者スポーツに理解を深めるとともに、「誰もが住みよいまちづくり」を目指し、共生協働の社会の実現、共生社会ホストタウン登録に向けて住民の意識向上と加速化を図ることを目的として実施しました。パラリンピック銀メダリストである講師の上原さんは、「障がいがあってもなくても、お互いを思いやり、助け合う心が大事。困ったことを隣の人や友だちに話して仲間をつくることが夢を叶え、世の中を変える第一歩。」と説き、児童代表の芝田侑生さんは、「障がいを持つ人の気持ちを知ることができた。これからは障がいを持った人に優しくしたり、声をかけて手助けしたい。」とお礼を述べました。

令和２年度天城町さわやか女性懇話会

２月24日（水）、役場４階ユイの里ホールにて、「令和２年度天城町さわやか女性懇話会」が行われました。町内在住の女性15名にお集まりいただき、男女共同参画社会についてやSDGｓの開発目標「ジェンダー平等」について学びを広げ、「家庭・職場・地域・学校にあるジェンダー平等について」のワークショップでは、日常の中にあるジェンダーに基づく困りごとや悩みについてグループ毎に意見を交わし、発表を行いました。グループ発表者の北郷かおりさんは、「普段の生活の中で、何気なく『男の子なんだから、女の子なんだから』とジェンダーによる発言をしてしまうことがあるなと気づいた。性別に関係なく、自分らしく生きていける世の中になったらいい。そのためには、まず親世代の理解を深めることと、子ども達への教育が大事だと思う。」と発表しました。

ー　「移住者にやさしいまちづくり意見交換会in天城町」　ー

1月29日（金）、役場3階会議室にて、先輩移住者からの多様な意見を聞き取り、町内への移住希望者に必要な支援等を行う参考にすることを目的とした「移住者にやさしいまちづくり意見交換会in天城町」が開催されました。町内にUIターンした先輩移住者15名にお集まりいただき、移住のきっかけや移住する際に困ったこと、あったら嬉しい支援制度などについて意見を交わしました。平成28年にIターン移住した吉垣匡敏さんは、「移住先を決める際には、町の支援制度の充実度合いが決断を後押しすると思う。移住支援制度を拡充させて、移住者にやさしい町になっていってほしい。」と感想を述べていました。

ー　さとうきび春植え推進出発式　ー

2月1日（月）、天城町糖業振興会主催のさとうきび春植え推進出発式が防災センター「さとうきびの碑」前で行われました。生産者や農協、南西糖業㈱などの関係者併せ約60人が参加。早期植え付けによる反収向上、天城町の目標面積350haの達成を目指し士気を高めました。

ー　農業塾閉講式　ー

3月11日（木）、農業センターにて令和2年度天城町農業塾 閉講式が行われました。今年度は6回開催予定でしたが、新型コロナの影響により第１回目が中止となり5回の開催となりました。延べ受講者数は211名、うち皆勤賞19名と今年も多くの方が参加し、野菜や土づくりを学びました。塾生を代表して元山美名子さんは「コロナ禍の中5回も受講することができたのはセンター職員をはじめ、皆さんのご協力のおかげ。ただただ感謝しています。こういう時だからこそ自分の育てた野菜を食べてますます元気になっていきましょう。」と挨拶を述べました。

ー　人権擁護委員　委嘱状交付　ー

1月29日（金）、人権擁護委員の委嘱状交付式が行われ、森田町長から友野みどりさんへ委嘱状が手渡されました。森田町長は「委員の皆さんはひっそりと咲く花のように、目立たず後ろから人を支えていく慈悲の精神でおられる。友野さんのようなお方がうってつけだとつくづく感じる。」と話しました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったりしています。（法務省HPより）

ー　鹿児島県男女共同参画推進員委嘱式　ー

２月27日（土）、かごしま県民交流センターにて、「令和２年度鹿児島県男女共同参画地域推進員委嘱式及び連絡会議」が行われ、仲恵さんと真田裕史さんの２名が委嘱状の交付を受けました。委嘱状の交付に際し、仲さんは「天城町の男女共同参画社会の実現に向けて、地域の方々と一緒に学びを広げていけたらと思います。」と意欲を述べられました。今後は、地域や学校、行政と連携を図りながら、本町における男女共同参画の推進に取り組んでいただきます。

鹿児島県男女共同参画地域推進員とは…地域における男女共同参画に関する普及・啓発、情報提供、県や市町村が行う男女共同参画施策の推進への協力など、様々な活動をボランティアで行っていただいています。

ー　特定健診受診率・がんばり賞　表彰　ー

3月5日（金）、定例区長会にて各種表彰伝達式が行われました。代表して各集落区長へ表彰状が手渡されました。受賞者は以下の通りです。

『特定健診 集落受診率』

・最優秀賞 当部集落　・優秀賞 松原上区集落

『がんばり賞 一般部門』

各種団体育成賞(特に各種団体の育成や活動を行った方)

・池上利男さん（前野）　・西阿木名青年団

ユイの心賞(特に地域貢献してきた方)

・神田　浩生さん（天城）　・盛岡　平一さん（兼久）

・上原　政司さん（平土野）　・直林　フジ子さん（瀬滝）

ー　講演「プロ野球選手になる秘訣」　ー

1月17日（日）、日本ハムファイターズ近藤健介選手の父・近藤義男氏による野球の講演会が、防災センターにて行われました。町内小・中学校の野球少年や関係者が出席。講演の第1部では「プロ野球選手になる秘訣」と題し、近藤選手の幼少期から学生時代の様子を語っていただきました。第2部ではバッティングを指導。バットを振るときのフォーム、タイミングなど写真を交えて細かく解説していただきました。
近藤氏は講演の最後、「みなさんの成長を楽しみにしています！」と、来年も徳之島に来る事を約束しました。

ー　北中学校「職場体験」　ー

1月27日（水）～29日（金）の3日間にかけて、北中学校2年生が職場体験を行いました。保育所・スーパー・各種販売店など町内11事業所で生徒を受け入れ、それぞれの業務を体験します。職場に来たばかりの生徒は緊張気味でしたが、担当者の説明を受けて働いていくうちに慣れてきたようです。最終日になると、テキパキ働いて頼もしい生徒も多くいました。生徒に話を伺うと、「楽しい」「思ったよりも大変」「勉強になる」等、感想も様々でした。働くことの大変さ・達成感を味わうことのできる、生徒にとって充実した3日間になったことでしょう。

ー　昔ながらの「キビかさぎ・黒糖づくり」　ー

技術の進歩や機械化により、数多くの伝統が忘れ去られつつあります。
2月10日（水）、天城小学校5年生が授業にて「キビかさぎ」を体験しました。近年、さとうきびの収穫はハーベスターが主流になっていますが、この授業で、昔ながらの手かさぎで収穫を行います。キビの葉を打ち、ハカマを落としたさとうきびを縄で縛ります。保護者や地域の皆様も協力し、児童一人一人にキビかさぎのやり方を教えていただきました。
3日後の2月13日（土）、収穫したさとうきびで黒砂糖を作ります。あまぎ食品の協力のもと、キビ絞りや、黒糖を成形する作業を体験させてもらいました。白糖の入っていない、サトウキビの甘み100％の「純黒糖」。出来たての黒糖は児童にも好評でした。この黒砂糖は天城小金管バンド定期演奏会のときに売り出され、販売開始30分で完売となりました。

― 平土野アートプロジェクト ―

3月6日（土）、平土野商店街を訪れると、あちらこちらで、店舗や壁に絵を描く人の姿が…。これは壁画によって商店街活性化を試みる「平土野アートプロジェクト」で、徳之島高校美術部の皆様が壁画を描いていました。

天城町は商工会に対し、まちづくり活動支援交付金30万円を交付。アートプロジェクトを行うにあたって必要な、壁画用塗料等に充てられました。「紙に描くときとは違って、壁に描くのは難しいですね。」と言いながら、美術部部長 中原孝さんは慣れた手つきで絵を仕上げていました。今後、この壁画が話題となり、商店街の活性化につながることが期待されます。

― 与名間集落　山海留学生用住宅の整備が完了しました！ ―

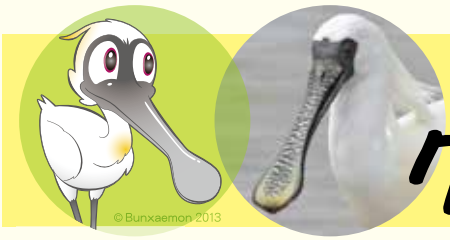
与名間集落が山海留学生受入れのために行っていた住宅の整備が完了しました。氏神神社近くの空き家を集落が譲り受け、天城町空き家改修費補助金交付事業を活用し改修しました。また、与名間分校ＰＴＡを中心としたボランティアで庭や室内の整備・清掃を行いました。

平山五十六区長は「山海留学生用住宅が用意できたことで、与名間分校存続につなげる児童を受入れることができる。移住者による地域の活性化にも期待したい。集落が主体となった空き家の活用・移住促進のモデルケースとなるよう頑張りたい。」と語っています。

― 東日本大震災から１０年　～がんばろう日本～ ―

あの日から１０年が経過、いまだ復興半ば多くの犠牲や大切なものを失いました。しかし、助け合い支え合い今日まで頑張っています。

いつ発生するかわからない大規模な自然災害に備えてわが町の安心・安全を確保することを目的に「天城町国土強靭化地域計画」を策定しました。



島の隠れた名物
クロツラヘラサギ

トリトリデッキ周辺では、鹿児島県内では珍しく、越冬だけでなく**越夏**(えっか)もしています。実は、徳之島の渡来数は、奄美群島では最も多いのをご存じですか？ この冬は、ここ10年間で最多の7羽が越冬しています。顔の表情は感じづらいのですが、他の鳥に比べて感情が豊かで、特にイチャイチャするカップルには、必ずと言っていいほど、大なり小なりやっかみます。クロツラヘラサギは世界的な希少種で、ひところは3,000羽程度まで減りましたが、現在は5,000羽近くまで増えつつあるようです。春から夏にかけ、主に朝鮮半島の黄海沿岸や、中国の渤海沿岸の無人島で繁殖し、中国や台湾、東南アジアで越冬していましたが、工業用地や養殖池など開発が進んだため、国内にも飛来する数が増えたようです。徳川幕府の歴史書「御実紀」では、鷹狩りで捕られた記録がわずかに残るのみでした。2020年1月の世界一斉個体数調査では、台湾島で全体の57％が越冬し、国内では11％、熊本県が飛びぬけて多く226羽、次いで福岡89羽、佐賀78羽、鹿児島69羽、山口31羽、沖縄22羽と続きます。韓国ではヘラサギ類を저어새(チョオセ)と呼び、中国では黒い顔をした中国琵琶(楽器)サギの意、黒脸琵鹭(ヘィリエンピーィウ)と呼ばれ、台湾では略して黒琵(ヘィピー)とも呼ばれるそうです。

ヘラサギ(左)は大きめで、眼がつぶら

夏羽の成鳥

1～2歳の若鳥は、翼の先が黒い

餌が捕れない腹いせに、メヒルギに咬みつく

くちばしの感触で餌を探る

いつもは小さなエビやカニを捕食

食事の邪魔になる後輩に咬みつく

運が良いと、ボラなど魚にありつける

クロツラヘラサギとヘラサギ(右端)は一緒に休む

グルーミングは警戒のサイン

仲の良い先輩たちに嫉妬して咬みつく

普通は、片足立ちで休む
まれに、かかとで休む

極めてまれに、座って休む

ちょくちょく、あくびする

もっと情報が見られる
電子版はこちら

※ クロツラヘラサギは成鳥になるまで最低3年かかるので、干潟が気に入ると1年以上滞在することがあります。

編集：天城町教育委員会　具志堅亮、山田文彦(資料提供)

ユイの里天城「花いっぱいフラワーロード運動

天寿園を彩る満開の桜

1月下旬から2月上旬にかけて、特別養護老人ホーム天寿園の桜が可憐に咲き誇り、多くの見学者が訪れました。この桜は昭和57年天寿園設立時に初代理事長 武原安行氏の意向で周辺に植樹したとのこと。同施設職員は「今年の桜は例年以上に綺麗に色づいたように感じます。新型コロナの影響で暗い話題が多い中、この桜をみて皆さんにほっこりしていただきたい。」と話しました。来年、再来年と天寿園の桜を眺めて癒されるとともに、春の訪れを感じてみてはいかがでしょうか。

B&G「海塾」花植え体験

2月20日（土）、天城町総合運動公園の遊具広場に隣接する花壇に、天城町B&G海洋センターソフト事業「海塾」の生徒とその家族が、プログラムの一環として、花植えを体験。ひまわりの種を植え付けました。このひまわりは天城町B&G海洋センターの地域おこし協力隊として活動していた浅野　綾さん（旧姓：仁科）が、本人の出身地である神奈川県座間市の観光協会から譲り受けた『ハイブリッドサンフラワー』という種類のひまわりです。背丈は約150cmにもなるそうですよ！開花は種まき後、約60日となっています。現在（3月3日時点）順調に芽が出て,今後の成長が楽しみです！B＆G体育館や総合運動公園遊具広場に訪れた際は、ひまわりと背比べをして、その成長を楽しんでみてはいかがでしょうか。

ユイの里天城「花いっぱいフラワーロード」コンクール　結果

ふるさと天城を「美しく・明るく・住みよくする」事を目指し、「ユイの心」を育むことを目的とし今年度からこのコンクールが始まりました。3月5日（金）、役場で開かれた定例区長会にて全集落区長へ表彰状が手渡されました。

与名間	まちかど花壇景観賞	松原西区	花いっぱいフラワーロード賞
前野	〃	松原上区	〃
平土野	〃	浅間	〃
大津川	〃	西阿木名	〃
瀬滝	〃	岡前	エコ花壇賞
当部	〃	天城	〃
三京	〃	兼久	〃

天城町子育て世代包括支援センター『こそだてらす』　愛称決定!!

たくさんのご応募ありがとうございました

天城町子育て世代包括支援センターの愛称を、天城町の子育て支援に携わる関係者の皆さまの投票により決定しました。

みなさんが安心して妊娠・出産子育てができるよう、妊娠前から子育て期の相談に応じ切れ目ない支援をお届けします！お気軽にご相談下さい。

「こそだてらす（子育て+照らす）」

子育てにかかわるすべての人を、温かくやさしく照らす。ぽかぽか心地よくなれる場所になってほしいから

天城町子育て世代包括支援センター
こそだてらす
公式LINEはこちら▶
ID:@531jtuxv

3月9日（金）「こそだてらす」命名式

在宅育児支援金増額のお知らせ

天城町に住所があり、保育所等を利用せず在宅において育児をしている家庭への支援金が増額となりました。

○対象乳幼児

町内に居住している生後６ヵ月から３歳未満のお子さん（令和３年４月中に生後６ヵ月に到達したお子さんは４月分から該当します。転入は、翌月より該当となります）

○支給金の額等

対象乳幼児１人につき　**月額5,000円 ⇒ 月額10,000円**

＜年２回支給＞

・上半期：４月～９月分⇒１０月支給

・下半期：１０月～３月分⇒４月支給

新　入学生　未来づくり応援金

新１年生へ応援金５万円が支給されます

令和３年４月より、小学校へ新入学されるお子さんへ応援金の支給がはじまります。

◎対象児童：天城町内の小学校に入学した児童

◎申請手続き：入学式に小学校より対象児童の保護者へ申請書を配布
天城町役場長寿子育て課窓口で申請書類の受付

◎受付期間：入学式当日～令和３年６月３０日

お問い合せ：長寿子育て課　８５－５３３３

天城町の「おすすめウォーキングコース」を
募集し応募があった場所を試歩。３つ星で評価しました！

歩いて健活♪
健康ウォーキング

～新型コロナ地方創生臨時交付金による新たな事業です～　２０２０年度　NO. 2

ピックアップ③兼久～犬の門蓋

景色：★★★（犬の上蓋）　/　使いやすさ：★★☆
試歩：約1,500歩約20分

周辺に住む方に向いているコース。
郵便局の向かい側を進むと犬の門蓋へ続く道がある。かなり距離があるので個人のペースに合わせてコースを決めると良さそうでした。また、兼久周辺の県道沿も歩道が整備されているため歩きやすそうな印象でした。

ピックアップ④あがりまた周辺

街灯：有　/　駐車場：有　/　トイレ：有
景色：★★★　/　使いやすさ：★★☆

お食事処あがりまた周辺のコースです。
お食事に来た際は周辺を散策してみてはいかがですか？アカショウビンやクロウサギなどの珍しい動物たちに遭遇できるかも！？

あがりまた営業時間　令和3年3月時点
土・日・月 10:00～16:30（ラストオーダー16:00）
※第4の土・日・月はお休み

オススメコースにご応募頂きありがとうございました！
応募者全員に商品券をプレゼントさせていただきました♪

ウォーキングのメリット

①全身の血行促進
②内皮細胞が活性される
③中性脂肪が減少する
④善玉コレステロールの増加
⑤生活習慣病の予防・改善
⑥心肺機能・代謝機能の増加

生活の「歩行」も少し**意識**するだけでエクササイズになります♪

★8020達成★おめでとうございます♪

８０２０運動とは、平成元年より厚生省(当時)と日本歯科医師会が提唱して開始された、満８０歳で２０本以上の歯を残そうという運動で、**何でも美味しく食べるために必要な本数です★**

令和２年度は**７名の方が受賞**され、歯の健康のコツを伺いました

池　みよ子さん(80)
残存歯　２０本
１日２回歯ブラシと歯間ブラシをし、小魚などなんでも噛める♪

澤　光男さん(81)
残存歯　２１本
歯医者はよく行っている☆

川口　久雄さん(84)
残存歯　２３本
どんなに忙しくても１日３回歯磨きします★
キビもかじれます♪

貞山　キン子さん(80)
残存歯　２４本
キシリトールガムをよく噛んでいる。硬い物が好き☆

重田　ヨシ子さん(80)
残存歯　２０本
よく噛み、半年に一回はお掃除に行っている♪

藤田　一子さん(85)
残存歯　２２本
朝･夕必ず歯ブラシをし気になる事があればすぐに歯医者に行く☆

三上　トキ子さん（80）
残存歯　２５本
歯磨き粉がない時は塩をぬって歯ブラシをしている。

ズバリ!!!

80 歳で 20 本以上の歯を残すコツは･･･

★毎日のセルフケア

★歯科医院で行う

プロフェッショナルケア!!

まずは、今の状態を知るためにも歯科健診!!
５月に特定健診があります♪
歯科健診も**無料**で行っているので是非★受診されて下さい

天城町保健センター

町制施行 60 周年記念

「あまぎ絵画コンクール」結果

☆　ユイの町大賞（1 人）

岡前小学校　４年　岩山　愛辰
「いろんな形自然のむしろぜ」

天城町内の小学生・中学生から計３８１点の応募がありました！たくさんの応募ありがとうございました！

大賞の岡前小４年の岩山さんの作品は，「第６次天城町総合計画」の表紙を飾ります。

☆　天城町長賞（３人）

与名間分校　１年　高田　汐里
「あまぎをかけぬけろ」

与名間分校　２年　豊島　愛真
「ワイド！ワイド！ワイド！」

北中　１年　峰岡　歩嬉
「自然からのおくり物」

☆　教育委員会賞（６人）

岡前小学校 ２年 盛田 羅海琉

三京分校 ３年 太田 ななみ

岡前小学校 ５年 昇　優菜

西阿木名小学校 ６年 吉田 春菜

天城中学校 ３年 前田 雄斗

天城中学校 ２年 松林　咲希

☆　優秀賞（９人）

与名間分校　１年　藤原　拓海

西阿木名小　２年　久保　果蓮

天城小学校　６年　初田　心音

岡前小学校　３年　中　輝翔

天城小学校　４年　今田　稟

兼久小学校　５年　和田　大澄

西阿木名中　１年　足田　大士

天城中学校　２年　西松　碧

北中　３年　麓　蒼空

☆　入選（２６人）

天城小　１年　田井　一颯	天城小　２年　宝　ゆず	天城小　３年　雪山　健斗
天城小　４年　吉原　萌希	天城小　５年　瀬尾　龍神	天城小　５年　森田　みなみ
天城小　６年　須川　那桜	岡前小　１年　奥山　煌城	岡前小　１年　昇　誠也
岡前小　２年　宇都　佑星	岡前小　３年　小林　健	岡前小　３年　澤　心美
岡前小　４年　浜田　隆聖	岡前小　４年　米田　仁	岡前小　５年　宇都　桜彩
岡前小　６年　上岡　倖大	岡前小　６年　外立　このは	天城中　２年　初田　心和
北　中　１年　岩山　優辰	北　中　１年　芝　日向	北　中　２年　禎　瑠璃香
北　中　２年　吉田　若奈	北　中　３年　徳田　裕香	北　中　３年　春山　ゆい
北　中　３年　吉田　琳音	西阿木名中　１年　阪野　啓太	

※　掲載している児童・生徒の学年・学校は，作品出品時のものです。

本コンクールは，町制施行 60 周年にあたり「天城町」をテーマとし，町内の小学生と中学生を対象に実施しました。どの作品も，生き生きと描かれており，天城町に対する思いが伝わってくる作品ばかりでした。これからも，ふるさととなる天城町を大切にしながら大きく成長してくださいね。

天城町教育委員会

「令和３年全国戦没者追悼式」参列遺族の募集

全国戦没者追悼式への参列を希望される遺族の方を募集します。

○期　　日　令和３年８月15日（日）
※　前日からの団体行動になります。

○場　　所　日本武道館（東京都千代田区）

○対 象 者　戦没者の遺族
一般戦災死没者（空襲により亡くなった方など）の遺族
※鹿児島県内に住民登録をしている遺族に限ります。
※過去に参列したことがない方を優先します。
※「次世代への継承」という観点から「18歳未満の遺族」についても募集します。

○申込期間　令和３年５月６日（木）～５月31日（月）

○募集人員　鹿児島県内から65人
※申込み多数の場合は、選考を行います。

○申 込 先　天城町役場　長寿子育て課　社会福祉係
電話　85－5310

○問い合わせ先　県庁社会福祉課　調査援護係
電話　099－286－2830

○そ の 他　新型コロナウイルスの感染状況により，今後変更になる可能性があります。

社会福祉法人 南恵会

徳之島くらし・しごとサポートセンター

ひとりで悩んでいませんか？

相談無料

しごと…　生活の悩み不安　こども…　病気・介護…

「なんでも」相談窓口です。まずはご相談ください。

訪問相談　水曜日　13:30～16:30　天城町役場
TEL　０９９７－８２－１１２２
土日専用　080-8388-1635（8:30～17:15）
FAX　０９９７－８２－１１２３

特別障害者手当
障害児福祉手当のお知らせ

精神又は身体に著しく重度の障害を有するために，日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅の方の生活を向上させるために支給される手当です。

ただし，福祉施設に入所している方や長期間入院している方は，支給の対象外となる場合があります。

また，受給資格者，配偶者，扶養義務者の前年の所得額によっては，その年の８月から翌年の７月までを一つの期間として支給を停止する場合があります。

■特別障害者手当（20歳以上の方）：月額27,350円（令和２年４月改定）

■障害児福祉手当（20歳未満の方）：月額14,880円（令和２年４月改定）

※詳しくは，下記までお問い合わせください。

■問合せ先

鹿児島県徳之島事務所福祉課　℡　0997-82-0233

ふるさと創生室からのお知らせ

「住まい」に関する各種制度をぜひご活用ください！

●お帰りなさい住宅改修補助金（実家等を改修して天城町へUターンしたい方）
補助金額：対象経費の２分の１以内、上限１００万円

●空き家バンクへの登録物件募集中！（所有する空き家を貸したい方）
空き家バンクとは、空き家の売買・賃貸の情報を町ホームページ等で公開し、空き家を借りたい方へ情報提供を行う仕組みです。

●空き家改修費補助金（所有する空き家を改修して、第三者に貸したい方）
補助金額：対象経費の２分の１以内、上限１００万円
(補助対象となる改修工事の金額は５０万円以上)

※空き家改修費補助金の申請には、まず初めに「空き家バンク」への登録が必要となります。

【お問い合わせ先】
天城町企画財政課 ふるさと創生室　　TEL：0997-85-3116（お気軽にご相談を）

農地からの赤土等流出防止対策

天城町農地整備課

**農地からの赤土等の流出防止を図るためには、発生源対策が重要です
特に、農家による個々の農地での耕作、畑面管理時に行う営農対策は
速効性があり効果的であるとされていることから、各地域においては
営農指導の他、普及啓発に取り組んでいます。**

発生源（畑面）被覆対策

農地の耕耘や作付け管理前後に発生する畑面の裸地等状態をさとうきび葉殻で被覆梱包することでフィルター機能をもたせ、農地外への赤土等流出を軽減する効果があります。

九州電力送配電から感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や魚釣りは絶対に行わないようお願いします。なお、万一鯉のぼりや、釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、九州電力送配電までご連絡いただきますようお願いします。

九州電力送配電㈱　奄美配電事業所
連絡先：０１２０－９８６－８０８

入学・就職・転勤等による引越しで、住所を異動される方は、窓口での「正確な住所の届出」が必要です！

○住民票の住所の異動届（転出届・転入届・転居届など）は、
国民健康保険及び国民年金の資格の確認や、
選挙人名簿への登録などにつながる大切な手続です。

○身分証明書となる「マイナンバーカード」の「住所」等は、
最新のものにする必要があります。

（おもて面）

（正当な理由がなく住民票の異動の届出をしない場合、
5万円以下の過料に処されることがあります。）

◆住民票の異動届（転出届、転入届、転居届等）の手続き方法

◎他の市区町村に転出・転入する場合

引越前の市区町村
［転出前に］
転出届を提出して
転出証明書を受け取る

↓

引越先の市区町村
［転入した日から14日以内に］
転出証明書を添えて
転入届を提出

◎同一の市区町村内で転居する場合

お住まいの市区町村
［転居した日から14日以内に］
転居届を提出

○詳しくは、お住まいの市区町村の窓口へお問い合せください。

総務省 MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

“恋するさめぱん”　“恋するししぱん”販売開始

令和２年度おいでよ！魅惑のアマパゴス事業にて、徳之島の近海で漁獲された鮫と、徳之島の森で育った猪を活用したハンバーガーの商品開発を行いました。
害獣として取り扱われている鮫や猪の新たな利活用を提案するとともに、新たな町の特産品として町内外に広く発信していくことを目的としています。

販売店舗

“恋するさめぱん”
Cafe Island BLUE
０８０－８３７７－６２３８

“恋するししぱん”
まぁ～いKitchen
０９０－７３９２－９７９８

※両店舗ともに、事前に問合せをお願いいたします。

“恋するさめぱん”を食べた方の感想
鮫は匂いがきついと思い込んでいましたが、全くそんなことはありませんでした。ふわっとした白身魚のような味わいです。タルタルソースとの相性も抜群で、一度食べたらやみつき。恋してしまう美味しさです！

“恋するししぱん”を食べた方の感想
猪のお肉は、硬いとか獣臭いなどのイメージがあって正直言うと苦手でした。でも、このししぱんは硬さをほとんど感じなかったし、生姜焼きなので馴染み深い味で食べやすかったです。また食べたいです。ししぱんに恋しちゃいました！

この商品について販売を希望する事業者には、無料でレシピや販促グッズを配布し、実際に販売を検討していただくことが可能です。恋するさめぱん、恋するししぱんの販売をお考えの事業者の方はぜひ一度、お問合せください。

＜問合せ先＞
天城町企画財政課ふるさと創生室　８５－３１１６（直通）

わたしたちのまち

（2月1日現在）

世帯数（戸）	3,079
総人口（人）	5,805
男	2,955
女	2,850

（1月届出分）

出生（4）	死亡（10）
転入（17）	転出（12）

わたしたちのまち

（3月1日現在）

世帯数（戸）	3,078
総人口（人）	5,803
男	2,951
女	2,852

（2月届出分）

出生（4）	死亡（10）
転入（20）	転出（15）

町民の動き

たんじょうおめでとう

氏名	保護者	住所
金子 結斗（ゆいと）	優介 蛍	与名間
竹田 理桜（りお）	大輔 かおり	松上
松林 結莉那（ゆりな）	将吾 有里菜	西阿木名
上岡 新（あらた）	将 瑠奈	浅間
永井 徠鳳（らいお）	良幸 愛菜	岡前
友良 逢翔（あいと）	翔太 衣舞紀	平土野
登山 心結（ここな）	諒 翔子	天城
伊藤 健（たける）	貴将 あゆみ	前野

いつまでもおしあわせに

新田 和輝	高峰 麗音	松上 浅間
石原 怜於	米村 静花	瀬滝 平土野
森田 翔也	吉岡 麗那	天城 岡前

香典返し

故人	寄付者	金額
作山 克彦	作山 市子	3万
西松 キヨ	西松 文栄	3万
貞岡 学	貞岡 孝治	3万
森田 克己	森田 登志子	3万
前田 誠一	前田 あづさ	2万
仁 キヨミ	仁 成吉	3万
浅野 マサ子	浅野 茂二	5万
藤山 尚二郎	吉盛 悦子	3万
福澤 秀行	福澤 玲子	3万
叶 春美	叶 光武	2万
春田 一子	春田 光一	3万

令和3年1月1日から令和3年2月28日までの届出分のうち承諾を得た方のみ掲載しています。

ごめいふくをお祈りします

氏名	年齢	住所
豊藏 衛	(71)	瀬滝
貞岡 学	(43)	天城
前田 誠一	(72)	松西
石原 一廣	(78)	浅間
豊藏 信子	(93)	瀬滝
仁 キヨミ	(80)	西阿木名
浅野 マサ子	(81)	浅間
豊島 徳	(85)	松西
條 信雄	(68)	浅間
叶 春美	(66)	岡前
春田 一子	(94)	松西
松山 ハル	(99)	与名間
豊島 武徳	(87)	浅間
麓 仲治	(63)	松上
長山 建藏	(96)	浅間

1月・2月届出のうち承諾を得た方のみ掲載しています。

岡ちゃんの天城さんぽ

アマミノクロウサギって イクメンパパ!?

－誌上編－

みなさんこんにちは!!AYT(11ch)の「天城さんぽ」でおなじみ!?岡ちゃんです。今月号から広報あまぎ誌上でも、世界自然遺産に関連するネタをご紹介していきます。

みなさんは、AYT(11ch)で0時から6時に放映されているアマミノクロウサギ観察小屋ライブ映像をご覧になったことがありますか？(時間が時間なのでよい子のみんなは見ないでネ．．．)こちらの映像で、2月下旬から3月上旬にかけて親子連れでウサギが映る場面がありましたが、3月5日にはウサギママが子ウサギに授乳するシーンの他に、ウサギパパが子ウサギと数分間じゃれ合うシーンが映っていました。(※勝廣光著「写真でつづるアマミノクロウサギの暮らしぶり」を参考にして判断しました。)
実はアマミノクロウサギってイクメンパパ！？

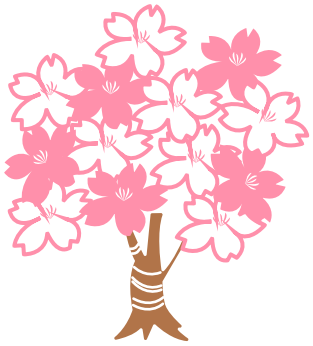
広報係から御礼

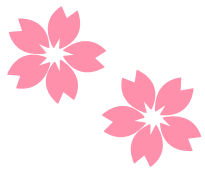
広報あまぎ縮刷版を発行するにあたり、欠号となっていた広報誌（277号・279号）を森田久美子さんに提供していただき、平成3年以降全ての広報あまぎを揃えることができました。ご協力ありがとうございました。

町政の動き

令和3年1月 日・曜日・諸会議・行事等報告

1金 町制施行60周年記念年賀式
4月 令和3年仕事始め式
5火 天城町消防団長他幹部来庁
北海道日本ハムファイターズ近藤健介選手一行徳之島自主トレ歓迎（徳之島空港）
8金 天城町新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第19回）
区長連絡協議会定例会
小出義雄メモリアル天城クロスカントリーパーク記念碑除幕式
9土 新型コロナウイルス感染症に関する国の緊急事態宣言発令
13水 徳之島中央家畜市場初セリ市
15金 陸上自衛隊水陸機動団本部第二科長来庁
22金 第2回天城町行政改革推進委員会
第2回天城町ゆたかなふるさと寄付金運営協議会
25月 時任学園理事長来庁
28木 駒澤大学陸上競技部合宿歓迎（徳之島空港）
29金 徳之島愛ランドクリーンセンター新設天城町候補地視察
30土 人権擁護委員委嘱伝達式
移住者にやさしいまちづくりＩＮ天城町
赤土新バレイショ「春一番」出発式



令和3年2月 日・曜日・諸会議・行事等報告

1月 春植え出発式
前野要望書（集落公民館補修支援）
2火 西阿木名要望書（新校舎建設）
天城町水道事業運営審議会
3水 地方自治振興促進懇談会（鹿児島市）
5金 県糖業振興協会理事会（ＷＥＢ会議）（天城町）
国交省 九州運輸局鹿児島運輸支局次長来庁
8月 第3次天城町行政改革大綱答申
10水 徳之島愛ランド広域連合組合管理者会議（伊仙町）
12金 第2回未収金徴収特別対策会議
16火 天城町教育文化の町推進本部会
17水 天城町ごみ処理施設新設建設検討委員会
18木 天城町町制60周年記念絵画コンクール審査会
19金 奄美群島市町村長会議他各種会議（奄美市）
22月 とくのしま居住支援協議会設立総会（徳之島町）
徳之島愛ランドクリーンセンター新設予定候補地に関する地元集落説明会
24水 県市町村長会他会議（鹿児島市）
奄美群島農村整備事業推進協議会・県農村部意見交換会（鹿児島市）
26金 大島税務署長来庁
27土 徳之島愛ランド広域連合議会全員協議会（伊仙町）